

増加している。

2 専修学校などへの入学(表1・2、表3-1・2、表6参照)

専修学校など(予備校を含む)への入学者数は、男子三千二百九十五人(入学率二七・九%)、女子二千九百五人(同二六・四%)である。

前年度に比して、男子は一・五ポイント、女子は〇・二ポイントそれぞれ減少した。

学科別にみると、農業科・水産科では一・六ポイント、家庭科では〇・六ポイントそれぞれ増加したが、それ以外の学科においては、減少している。

なお、予備校入学者を含まない専修学校など入学者は、四千六百六十三人(入学率二〇・四%)で、前年度より〇・一ポイント増加した。

3 次年度進学希望者(表2、表3-1参照)

次年度進学希望者数は、男子千四百八十人(二二・五%)、女子五百六十人(五・一%)である。

全体では、八・九%であり、前年度より一・〇ポイント減少し、これまで最低であった五十九年度の九・〇%を下回った。

五十三年度以降一〇%を前後しており、最高は六十二年度の一〇・七

%である。

4 学部別進学者・入学者(表4参照)

進学者総数六千四百六十二人の内訳は文科系三千六百六十二人(四八・九%)、理科系千五百五十八人(二四・一%)、その他千七百四十二人(二七・〇%)となっている。

5 大学別進学者(表5参照)

表5は進学した主な大学について進学者の実数を示したものである。七年度卒業生の四年制大学への進学者は、全体で前年度より二百二十三人増加した。

国立大学、公立大学では、それぞれ八十四人、二十人の減少であったが、私立大学においては三百二十七人増加した。

6 大学入試センター試験の志願者

平成八年度大学入試センター試験の志願者数は、男子二千九百一人(前年度二千九百三人)、女子千八百七十七人(同千六百九十六人)、計四千七百八十八人(同四千五百九十九人)で百十九人増加した。(県立高等学校長協会調べ)

三 就職状況について

1 全般的な状況(表1、図1-1②、

表2 平成7年度進学者実数(公立全日制)

区分 学科別	性別	卒業者数	進 学 者 数						専修学校 と予備校 を除く	次年度 進学者
			計	大 学			短期大学	その 他		
				国 立	公 立	私 立				
普通科	男	6,439	2,330	561	85	1,628	50	6	1,119	1,285
	女	7,274	2,828	381	46	1,124	1,270	7	1,740	511
	計	13,713	5,158	942	131	2,752	1,320	13	2,859	1,796
農業科 水産科	男	1,051	39	2	0	11	4	22	157	3
	女	364	17	0	0	4	13	0	67	0
	計	1,415	56	2	0	15	17	22	224	3
工業科	男	2,760	228	7	6	198	16	1	525	53
	女	340	20	0	1	8	11	0	54	4
	計	3,100	248	7	7	206	27	1	579	57
商業科	男	1,228	211	4	2	188	15	2	328	30
	女	1,716	220	3	0	52	164	1	354	7
	計	2,944	431	7	2	240	179	3	682	37
家庭科	女	838	115	0	0	19	95	1	218	2
	男	337	154	39	2	110	3	0	35	109
その他	女	460	300	22	1	163	113	1	66	36
	男	797	454	61	3	273	116	1	101	145
	計	11,815	2,962	613	95	2,135	88	31	2,164	1,480
全日制計	男	10,992	3,500	406	48	1,370	1,666	10	2,499	560
	女	22,807	6,462	1,019	143	3,505	1,754	41	4,663	2,040